



国際交流員カロリンのコラム

クリスマスツリーを まだ置いていますか？

Steht der Weihnachtsbaum noch? (シュテートデア ヴァイナヒツバウム ノフ?)



明けましておめでとうございます！皆さんは穏やかに新年を迎えましたか。クリスマスはどう過ごしましたか。

クリスマスはもう終わりましたが、ドイツの家には、今でもまだクリスマスツリーが飾られています。驚きますね！

クリスマスツリーの慣習はドイツの地域によりますが、多くのドイツ人は、クリスマスツリーを12月23日に組み立てます。24日のお昼からクリスマスソングを聞いて踊りながら、家族のみんなで飾りつけをします。小さい子どもはその間に昼寝をします。昼寝から目覚めたときにはもう外は暗いので、クリスマスツリーがライトアップされていてとてもきれいです。



伝統的に、常緑樹に赤の飾りつけをします。緑は希望を意味していて、赤は私たちのためにメシア（救世主）が流した血を意味しています。その他の飾りは木で作られた自然な色のものです。

昔は、本物の赤いリンゴやナッツ、ろうそくを飾っていました。でも、温かい部屋の中では本物の食べ物やろうそくは傷んでしまいますし、ろうそくは危ないので飾らなくなりました。

今は、赤い球の飾りから銀色のリボンまで、たくさんの飾りがあります。一番人気がある飾りは、星、鈴、天使の飾りでしょう。雪をイメージしたキラキラしたものも流行っています。

私が小さい頃、私のお母さんはよく飾りを手作りしてくれました。色々な形の pasta を組み合わせて、天使の姿を作り、金色に塗って飾ってくれました。飾り付けで一番大事なのはクリスマスツリーの頂上で、大きな星や天使がよく飾られます。その飾りは藁で作られていることが多く、幼いキリストが寝かされていた桶の中にあつた牧草を象徴しています。



さて、すでに1月なのに、どうしてクリスマスツリーがまだ置いてあるのでしょうか？

それは、3人の賢者が贈り物を持ってキリストのもとへお祝いにやって来た日の1月6日、または、キリストが生後40日後に神殿で祝福を受けた日の2月2日に、クリスマスツリーを捨てるからです。

どちらの日に片づけるかは、家によります。私の家では2月2日まで飾ったら、飾りを取って、お父さんがツリーを切ります。ツリーは薪になって、次の年に暖炉で燃えて、家を温めてくれます。

私はクリスマスシーズンが大好きなので、2月まで楽しめるのが本当に嬉しいです。

第7回ティーパーティーを 開催します

市国際交流協会では、在住外国人の方との交流会としてティーパーティーを開催します。

今回のテーマは「日本」です。日本の冬の定番、こたつに入ってミカンやおもちを食べながら交流します。かるたで遊んだり、

浴衣の体験もあります。

日本人、外国人は問いません。みなさん、ぜひお越しください！

■日時 1月20日(日)
午後1時～3時

■場所
薬師寺コミュニティセンター

■参加費 200円
※当日集めます。

■定員 20名

■申込期間
1月7日(月)～15日(火)

■申し込み・問い合わせ先
市国際交流協会事務局
(市民協働推進課)
☎(32)8887

※ママパパ English については、30ページを check !



TAKE FREE

広報しもつけを設置協力いただけるコンビニエンスストアなどのお店を募集しています。

ご協力いただける場合は総合政策課 ☎0285 (32) 8886 情報広報グループまでご連絡ください。

PC・スマホ
市ホームページ

